

訓練用水消火器訓練

訓練用水消火器を使用した消火器取り扱い訓練を紹介します。工夫次第でいろいろな形式で、子どもたちとも一緒に実施できる訓練です

1 ねらい

充填が比較的容易で繰り返し使用できる訓練用水消火器を利用し、実際の消火器と同じ操作方法の消火器を取り扱うことで、消火器の取扱いを訓練します。

2 必要なもの

(品目)	(数量)
訓練用水消火器	30 (詰め替え可能な場合は、15本)
エアーコンプレッサー	1
コードリール (延長コード)	1
水槽 (蛇口からでも可能)	1
消火器カットモデル	1 (あれば)
水消火器用の的	1セット

ワンポイントアドバイス

☆的(まと)にはさまざまなものが考えられますが、上手に消火器を使用できた場合にと放射時間内ですべての的を的中させることができるような工夫があると、より実戦的な訓練になります。(的については消防署にもあります)

3 子どもと一緒に楽しみながら訓練

的を工夫することにより、子どもたちもゲーム感覚で楽しみながら模擬消火体験をすることができます。

- (1) **カエルデザインの的** (備え付けている消防署もあります。) ストラックアウト形式で9つの的を時間内に的中させる訓練が可能です。
- (2) **ペットボトルに少量の水を入れた的** 放射時間内に的中可能な数量は、8～9個程度です。
- (3) **ボールを落とす的** (備え付けている消防署もあります。) 数量が限られているため、確実に一つの的を落とす訓練となります。



4 進め方

① 事前説明

「消火器のカットモデル」（消防署にあります。）や消防局ホームページ内の「消火器の使い方」などを参照に、消火器の構造や使用方法、粉末消火器や強化液消火器の特徴などを事前に説明します。

② 事前準備

● 水消火器の準備

水消火器を必要本数用意します。参加者数用意できる場合は、事前に水を充填しておく、当日エアーコンプレッサーを会場に持参する必要はありません。

● 的の準備

【カエルデザインの的】

- ・ 備え付けている消防署から借りてきます。（他の行事で使用する場合がありますので、早めに予約しておいてください）
- ・ 組み立てが必要ですので、2～3人のスタッフと、電動ドリル（ドライバー）を用意しておくとう便利です。

【ペットボトルの的】

- ・ 事前に空ペットボトル（1.5ℓのものがベター）を用意しておきます。
- ・ 約四分の一程度の水をいれ蓋をします。
- ・ 少し高い場所に必要数並べます。

【ボールを落とす的】

- ・ 備え付けている消防署に限りがありますので、早めに消防署に相談してください。

③ 訓練実施

順番に消火訓練を実施します。終了後は消防職員に講評してもらいましょう。

ワンポイントアドバイス

- ☆ 実際の火災では、火が天井まで燃え移ったら消火器での初期消火はせず、屋内消火栓等の消火に切り替えるか、速やかに避難し119番通報しましょう。

参加者の方に・・・

- ☆ 家庭の消火器はどこにあるのか確認してもらいましょう。
- ☆ 家庭の消火器はどのタイプか（粉末、強化液など）確認してもらいましょう。